

軍用記

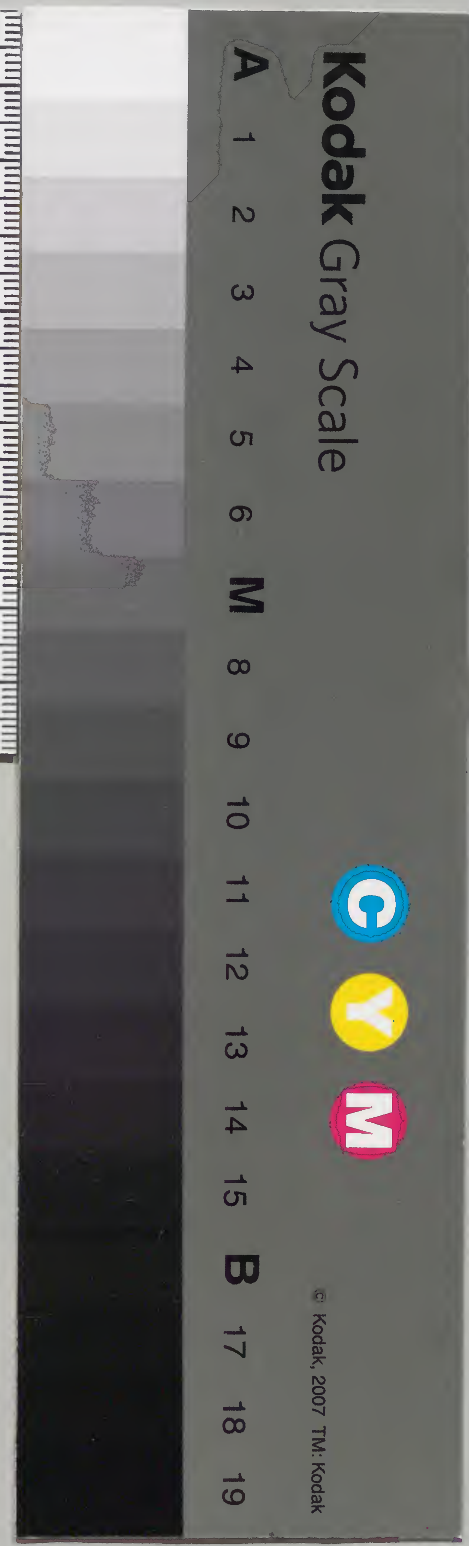
和書門
 一七二八〇號類
 一七八〇函
 一冊架
 七冊

内閣文庫
 和書
 一七二八〇號類
 一七八〇函
 一冊架

武備兵法

武備兵法

内閣文庫	
番號	和 17280
冊數	7 (6)
函號	154 3



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

軍用記

才六

目錄

報

澄



繩

二重板帶

馬具出目

報

泥障

切付

面掛胸魚尻懸

手經腹帶

鞍覆

手經取液

馬索板



馬嘶吉凶

二毛馬

敷皮為鞞履

旗袋

旗臺

乳付旗

同杉敷

幕串

幕出入

幔幕

馬五性十毛

馬賣ト云

旗裁縫

旗竿

旗指

幕

幕打板

幕小丸付

幕互根

幕入唐匱

軍道具不先

軍用記 才六

馬具之事

一 軍陣の鞞も帯の鞞もつとをいひ只けあふ後をけり
 の遠也為の巻而敷定法あり其巻の好由ありし但敷
 小きしし而又五而又七而又九而巻つし馬鞍鞞も後ハ白し
 一 竹の根鞞ハ畧倣し依之軍陣より不用也木の陰鞞ハ倣し
 一 鞞のまゝ木の根柳の一石の柳よりなる然柳ありは其の
 木ありしは長サハ二尺七寸五分入け寸尺ハ子の尺ありし
 其又竹をうまの尺ありし何れも我々の定むる是をわがたをり

甲丙戌庚壬子辰ノ自ハ 辰巳の方也

甲丙戌庚壬ノ午申ノ自ハ 午の方也

乙丁巳辛癸ノ未申ノ自ハ 未申丙の方也

乙丁巳辛癸ノ巳亥ノ日ハ 戌亥子の方也

乙丁巳辛癸ノ卯辰ノ日ハ 卯の方也

甲丙戌庚壬ノ寅戌ノ日ハ 丑寅の方也以上八方位の方也

旺相の方位ハ旺相死囚老と云事何事甚旺と云の方位ハ

春ハ東方旺之南方相之 夏ハ南方旺之中央也

秋ハ西方旺也北方相也 冬ハ北方旺之東方也

北方ハ旺也南方と云事

玉女の方と云ハ某日の交り九つあるの申の方也
その日ちうの内の方之に節端知了玉女ハ何事モ吉也

一 旗幟以自意多き物のと云 逆ニ後 浮連一歩ノ 七五三の紙

裁板 夜柳 尺 周の天也子 糸向の物の枚をう録する儀

糸 右より 裁口ニ 新き糸 一ツと金割糸と あつて 針 新糸

伊幣 白軍神の 糸のうに張 蓬の矢一子 葦の矢一子

ちやうやくみ

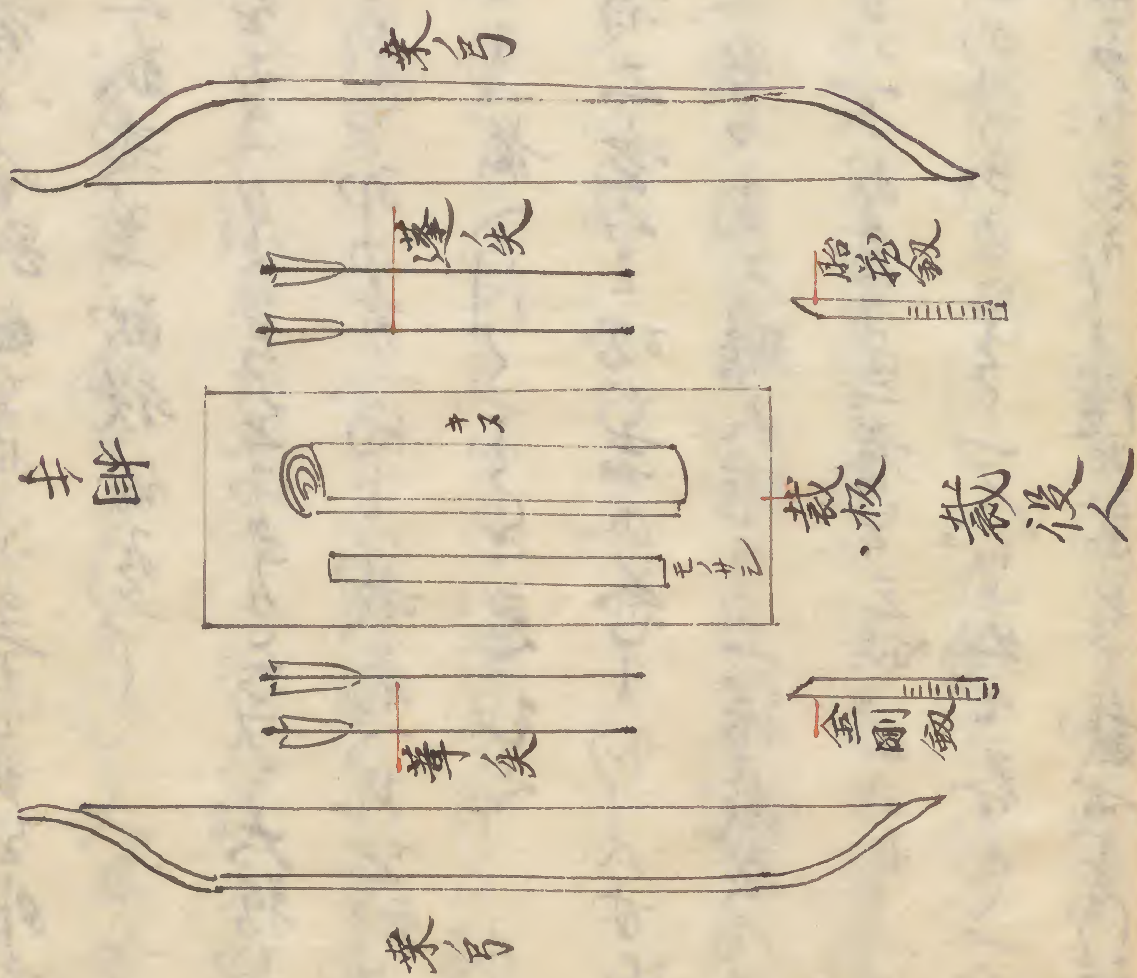
一 肴の事 赤蛇 勝栗 昆布 丙 供饗 折敷 洗米

土器

一 裁めえ心中 祈念の心身 心経七卷者立 兎立 くらいの咒

一 摩利支天咒奈勝金剛咒九字文以上止一遍
 一 勸請祈念の神伊勢大社宮八幡大菩薩 其より氏神
 一 大社宮八幡宮の軍神
 一 鶴を裁役人出仕の作法の意向し、此意を意をわたりて
 日影の出るをとりまのりまははく

一 裁役の式をなすの事なりノ端のし



一 来弓蓬矢葦矢常ノ
 弓矢ノ尺ノ若長キモノ
 ナリハ短クモスハ寸尺ハ
 半ノ数ヲ用ユ
 一 裁板長サ二尺八寸廣サ
 一尺九寸ニテ宿止月ト閉
 月ニカタトル厚サヲ階陽也
 一 裁カノ双長サ寸五行五
 躰ニカタトル廣サ九分八九
 寸六分ハ三寸六分ニカタトル
 柄ハ白木勝軍木ノ白紋
 ニテ巻紙ヨリニテ七所巻
 七曜ニカタトル
 一 弓ノニキリモ矢ノ羽モ白
 紙ニテスルハ矢ハハカ
 ラスル也切ツクヘシ

一 裁り 左軍全別殿を内示ききそ刀を外方(向て)裁て居る
者少く二敵或は三敵脱儀あり

一 全別殿を少きうと小弓を少きうところへ大指と此の指をたふし
此のときさし和の方(向て)我前(口を)さすむふ(裁)やう
也軍隊は(前)へ行くことを急む

一 二敵の者二重々を吹六束の巻は何はす而の出陣の者組
目し神(なる)方三膳大将のふ一膳裁役人(お)のふ二膳人
徳兵のふ(可)おぬ(者)と三州(山)の(出)つ(て)登(り)人(お)籠(り)多
つ(て)重(た)め(る)あ(の)こ(う)へ(入)り(出)て(居)る

一 右の(者)少(き)う(と)小(弓)を(少)き(う)と(裁)り(而)出(陣)者(あり)

一 旗(調)の(者)少(き)う(と)先(遣)者(の)少(き)う(と)二(旗)下(に)旗(を)下(す)
旗(下)に(旗)計(を)留(め)て(九)針(右)一(旗)又(左)七(針)旗(を)留(め)
ま(と)ま(と)又(左)へ(右)へ(旗)而(左)上(より)旗(下)に(旗)計(を)留(め)

一 旗(調)の(者)少(き)う(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)信(家)の
旗(を)書(し)又(旗)下(に)旗(を)下(す)

一 旗(調)の(者)少(き)う(と)旗(を)下(す)る(者)一(八)旗(を)下(す)の(者)又(何)の(文)物(を)
大(將)の(旗)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)
又(旗)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)

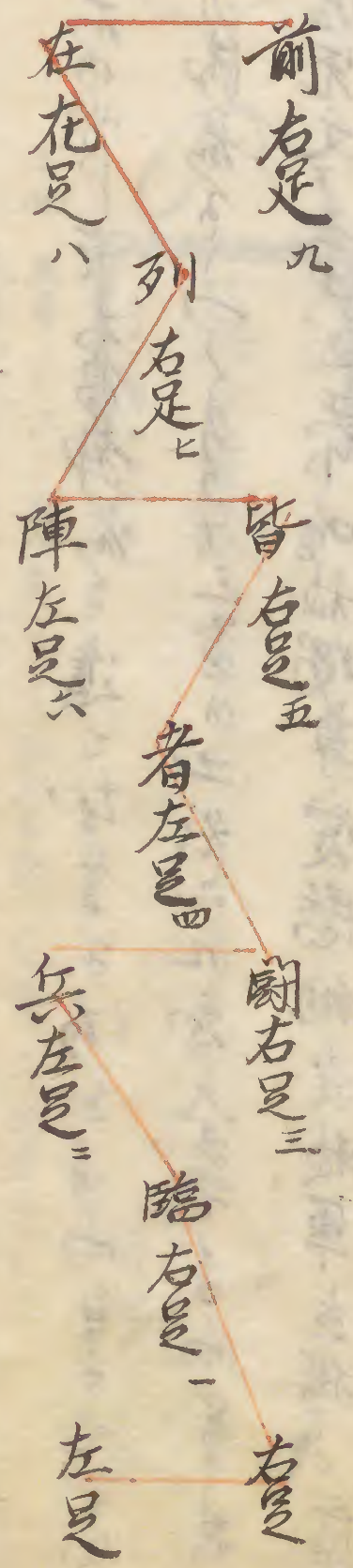
一 旗(調)の(者)少(き)う(と)旗(を)下(す)る(者)一(八)旗(を)下(す)の(者)又(何)の(文)物(を)
大(將)の(旗)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)
又(旗)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)
兼(て)秘(密)の(者)少(き)う(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)日(或)二(日)也(と)旗(を)下(す)る(者)一(七)

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 中 北 一 遍

一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人
 傳(き)き可秘(こ)可秘(こ) 天子の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事
 一 何(なん)れ(ん)と可秘(こ)可秘(こ)

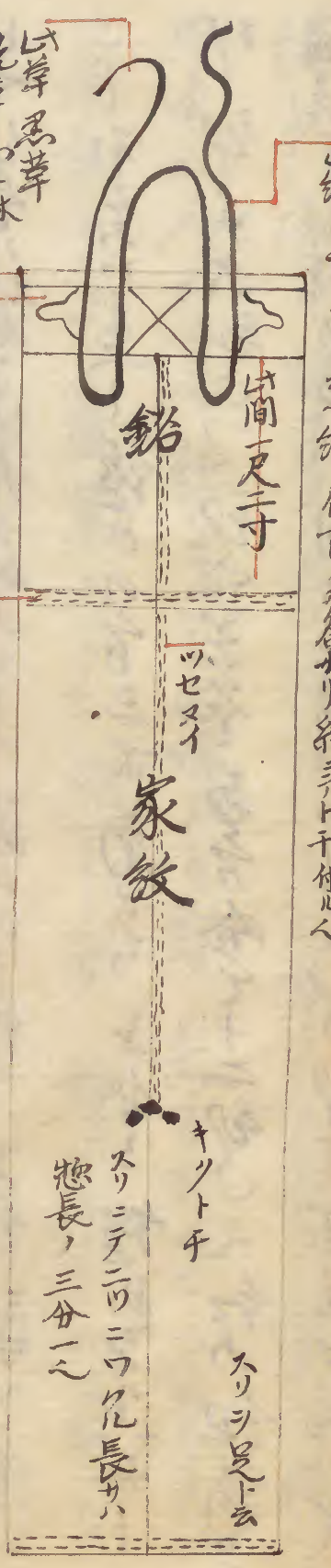
一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事
 一家の子旗竿を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事
 一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事

一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事
 一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事
 一 旗を始りて一人の御所後人若侍(ハ末羽)及び子一人の御所(の)秘事(ひ)は秘(ひ)せしむる事



一 右の如しを大御神前へ進上り申す所は御意に任せて申す事
 の御前よりついで申す所は御意に任せて申す事
 時見文云天上天下唯我獨尊愛懸納受我軍立勝と云
 喝てお礼を言ふ事長布衣を穿て申す所は御意に任せて申す事
 一 祝儀を言ふ事但お礼を言ふ事長布衣を穿て申す所は御意に任せて申す事
 祝儀を言ふ事長布衣を穿て申す所は御意に任せて申す事

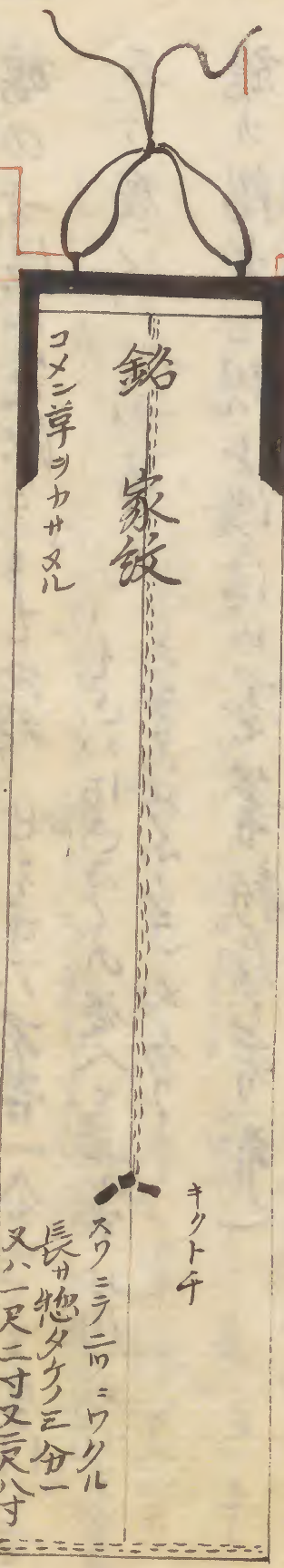
一 御幣の如しは朱者白向する所を朱者白向する所を
 精進の如しは白向する所を朱者白向する所を
 一 七の如しは御幣の如しは朱者白向する所を朱者白向する所を
 旗の如しは朱者白向する所を朱者白向する所を



ハ草忍草
 洗草心麻
 繩ヲ入
 ハ三のけんを草甲斐國草
 ハ而はあま上ケリ一折返シ
 ハ而はあま上ケリ一折返シ
 ハ而はあま上ケリ一折返シ

一 旗の形如しはこもあま

旗ノ鏡付ル而金物ヲタルハ忍ニ直ニ定マケテ
 鏡ヲ引通スヲヨシトス金物ニテハ編切ルモアリ
 半横ハ右ヨリ左へ縫兩端ハ上ヨリ下へ縫



早物
 黒草ニテハリヲ取ル廣サ一寸二分而長リニ尺尋上ニ勝軍木ヲ入ル
 又左右ハハリヲトラズ六カリ一文字ニハリヲトルモアリコメニカハヲモカサチズ

一 旗の寸法は定法をもちも如解くせよ其ハ不昔一命出ても定法に
長ク廣クハせぬ事也 そのいほしきもの後人言ふ事也其の如くは

一 旗の端ハ視を洗法に墨筆新画を命ず

一 右の如旗の縦長横ハ家々ニテテ右側を命ず事ハ事ハ如く
其ハ一色をえて不審と云ふ事ナリ

一 旗袋の事ハ紋の亦地の綿裏ハ縦を命ず付一長ク天麩
寺但是代袋に縦たるものたるは筒の如く旗ハ 亦方寺に縦の

こゝに云ふは一旗ののちニテ而菊を命ず事ハ事ハ如く
其ハ初め亦如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く

通事ハ一旗の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ一旗の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く

其ハ三天亦付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ藍草亦付一旗を命ず事ハ事ハ如く

一 旗の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く

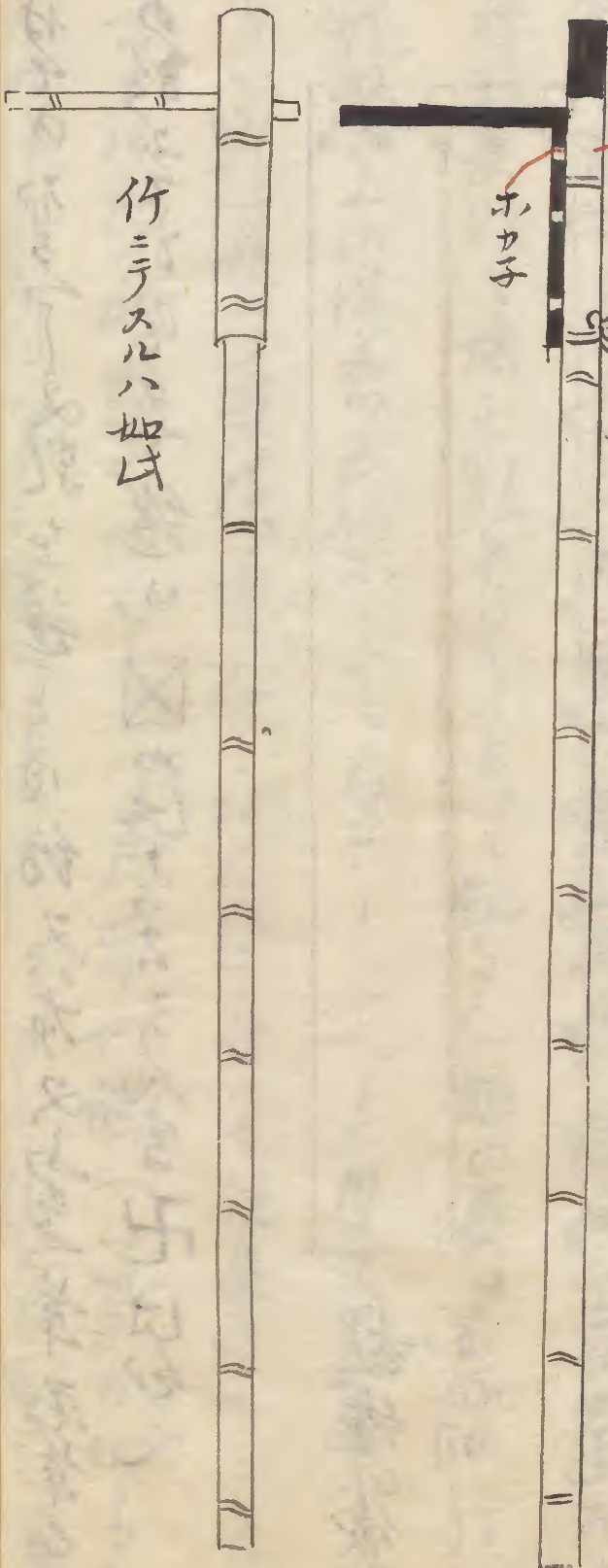
一 旗袋亦如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
役人亦如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く

右旗は其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く
其ハ其の如く付一旗を命ず事ハ事ハ如く

一上の乳を通る折ぐけの法を九つある程の年やうにまうま
 うの形のおもてりて乳をゆけて乳を通るに竿六つある程の
 通りこのう程のちまあるはちうのまうまをさへさへおまのう
 一巾の籠とあつてあつて竿まうまひとこの籠と又竹をさへさへ

ツボカ子ノサキは首ニテホトヨシサキニテ

ホカ子



竹ニテスルハ如ク

一 身方の籠をいさる横をいさる籠の籠をいさるたまうま
 一 籠をいさる籠をいさる籠をいさる籠をいさる籠をいさる籠をいさる

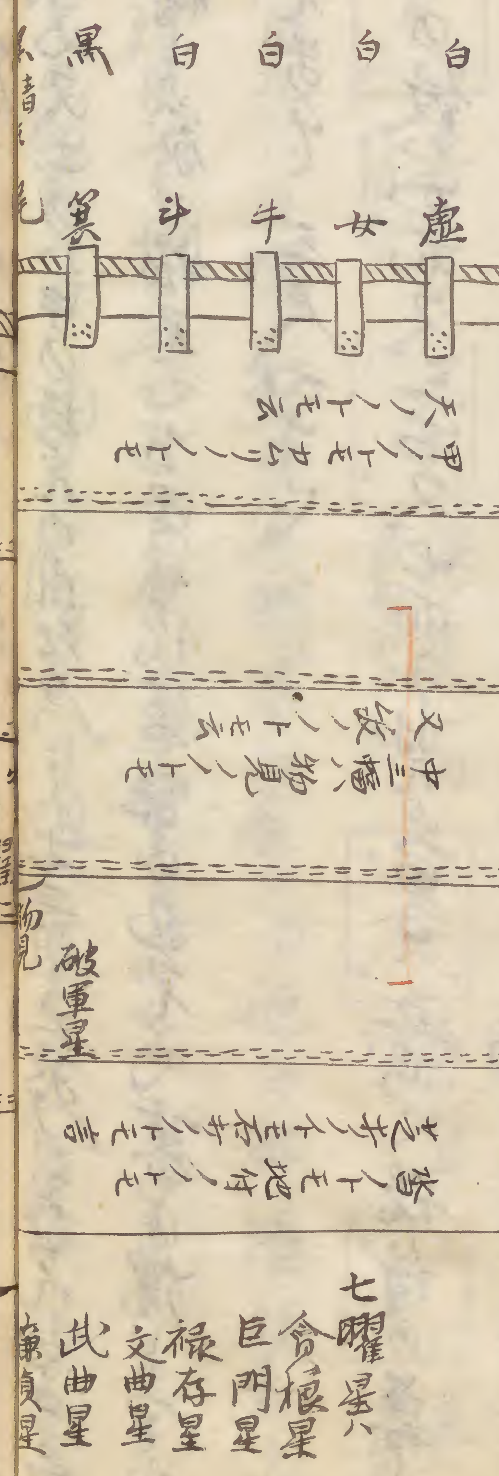
幕之事

一 幕の長さいさるいさるいさるいさるいさるいさるいさるいさる
 又及いさる日と表る布がういさるいさるいさるいさるいさるいさる
 空のち解木火也金水の五行を表と乳の形は八共いさるいさるいさる
 物見ハ九曜星と表る

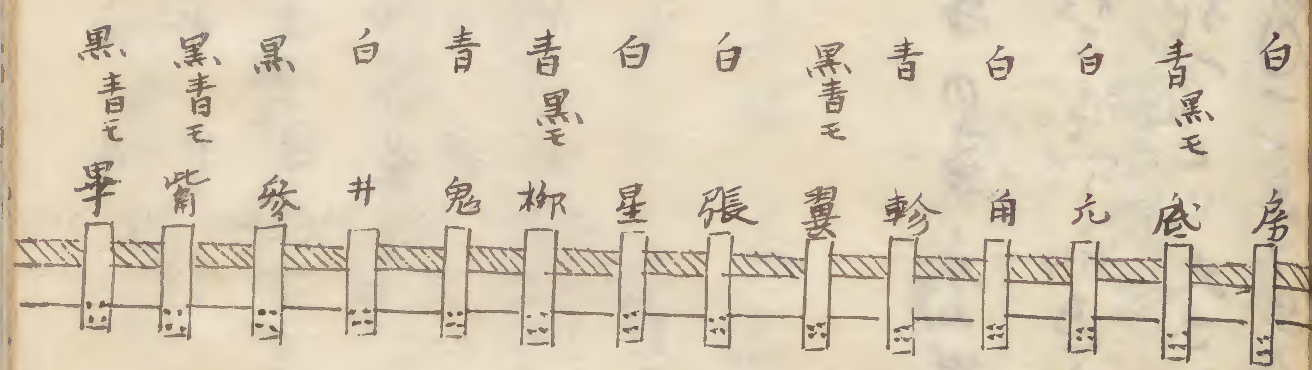
一 幕の地帯と幅のち幅いさるいさるいさるいさるいさるいさるいさる
 していさるいさるいさるいさるいさるいさるいさるいさるいさる

左の方ニ九字をええぬれしし 白の繩より流し何事
 一 地盤幕も生を紐も地漆の幕もけぬ糸も乳のま白青黒
 二 糸も何もねる糸も乳の粉も白繩も結らるるこ
 一 右のまえ白さ乳の十字の揚トる糸もあつこ

乳色白 大宿 花
 ナカラ乳ト両方ハシノ乳同色乳ト赤カ丹子付凡真中ニモ入シ
 手繩幕ヨリ元分元子
 未



七曜星ハ
 命根星
 巨門星
 祿存星
 文曲星
 武曲星
 廉貞星

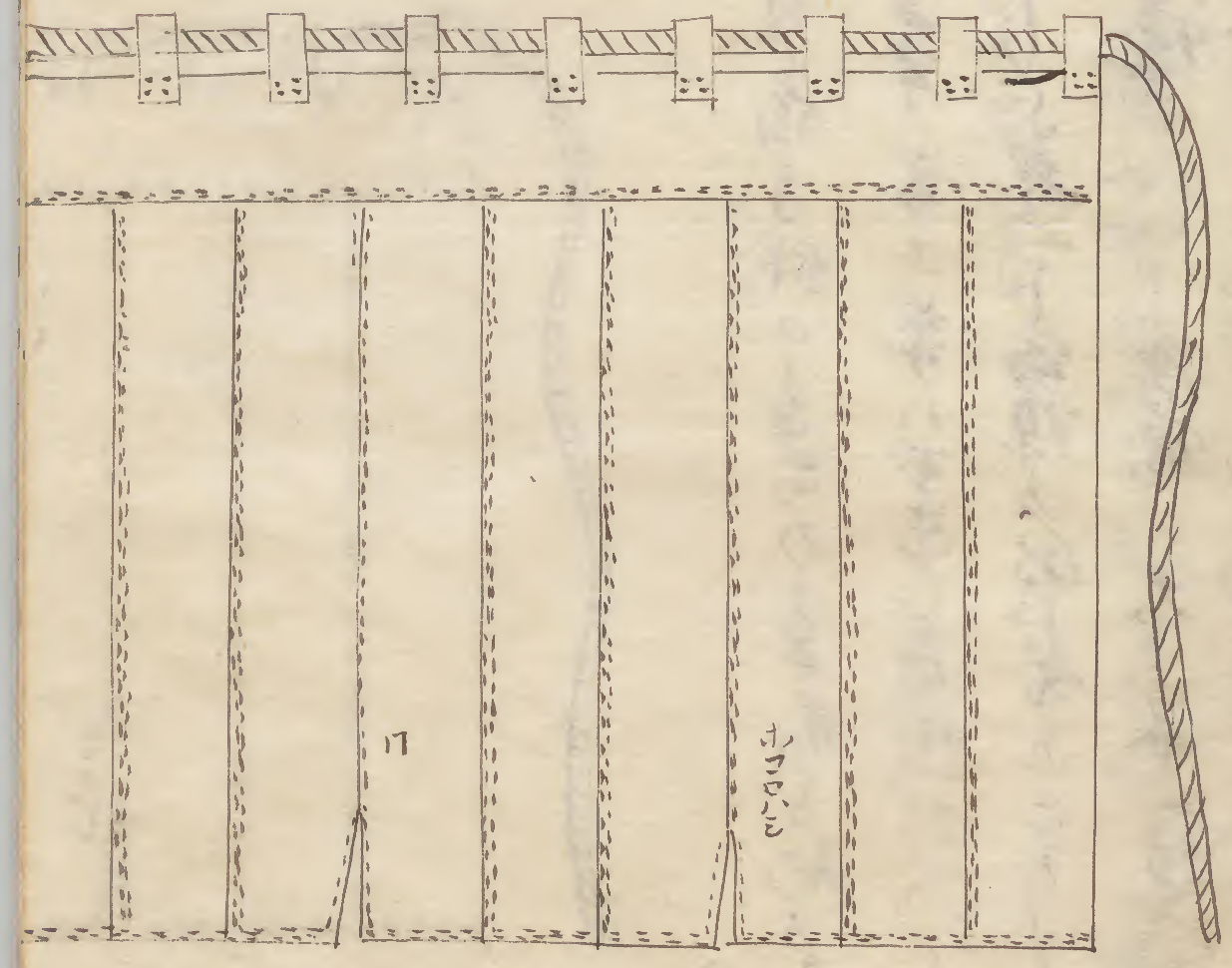


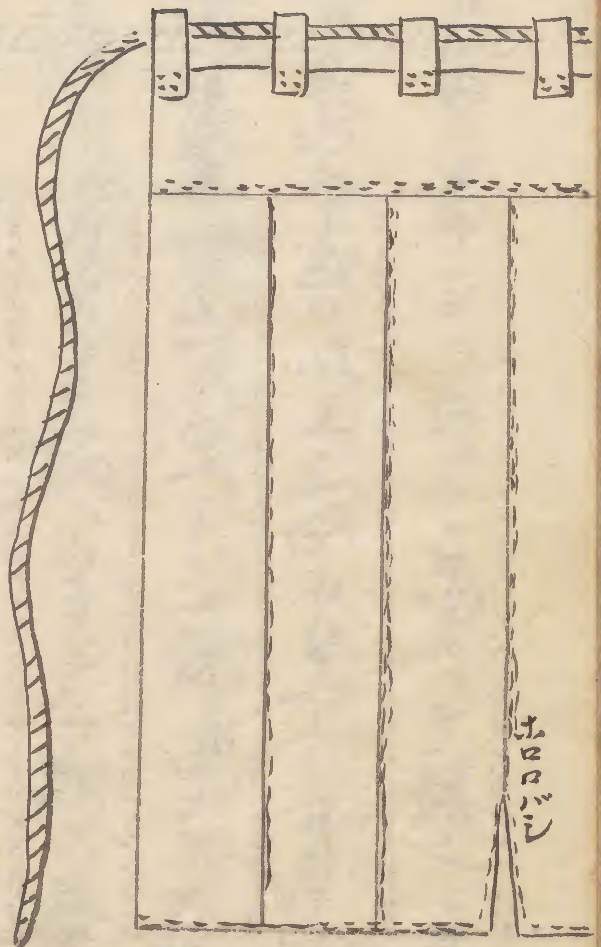
日輪 物見 羅候
 日輪 物見 文星 土曜
 廉貞星 物見 火曜
 祿存星 物見 金曜
 巨川星 物見 月曜

九曜星ハ
 日曜星
 月曜星
 水曜星
 火曜星
 木曜星
 金曜星
 土曜星
 羅候星
 計都星

一 繩に錯分ちて幕とつめて、一箇をテ錯之、二箇を付、日月の如
 くの如く、三箇を中、四箇を上下、五箇を左右、六箇を出入、七箇を
 上下、八箇を左右、九箇を出入、十箇を上下、十一箇を左右、十二箇を
 出入、十三箇を上下、十四箇を左右、十五箇を出入、十六箇を上下、
 十七箇を左右、十八箇を出入、十九箇を上下、二十箇を左右、二十一箇を
 出入、二十二箇を上下、二十三箇を左右、二十四箇を出入、二十五箇を
 上下、二十六箇を左右、二十七箇を出入、二十八箇を上下、二十九箇を
 左右、三十箇を出入、三十一箇を上下、三十二箇を左右、三十三箇を
 出入、三十四箇を上下、三十五箇を左右、三十六箇を出入、三十七箇を
 上下、三十八箇を左右、三十九箇を出入、四十箇を上下、四十一箇を
 左右、四十二箇を出入、四十三箇を上下、四十四箇を左右、四十五箇を
 出入、四十六箇を上下、四十七箇を左右、四十八箇を出入、四十九箇を
 上下、五十箇を左右、五十一箇を出入、五十二箇を上下、五十三箇を
 左右、五十四箇を出入、五十五箇を上下、五十六箇を左右、五十七箇を
 出入、五十八箇を上下、五十九箇を左右、六十箇を出入、六十一箇を
 上下、六十二箇を左右、六十三箇を出入、六十四箇を上下、六十五箇を
 左右、六十六箇を出入、六十七箇を上下、六十八箇を左右、六十九箇を
 出入、七十箇を上下、七十一箇を左右、七十二箇を出入、七十三箇を
 上下、七十四箇を左右、七十五箇を出入、七十六箇を上下、七十七箇を
 左右、七十八箇を出入、七十九箇を上下、八十箇を左右、八十一箇を
 出入、八十二箇を上下、八十三箇を左右、八十四箇を出入、八十五箇を
 上下、八十六箇を左右、八十七箇を出入、八十八箇を上下、八十九箇を
 左右、九十箇を出入、九十一箇を上下、九十二箇を左右、九十三箇を
 出入、九十四箇を上下、九十五箇を左右、九十六箇を出入、九十七箇を
 上下、九十八箇を左右、九十九箇を出入、百箇を上下、

幔幕





一乳を縫付る紐の繩のさすの事前記の如し

一幕を垂下す幕の幕の糸を首紐に掛入る事して此種の幕の
 糸の掛りし事して此種の幕の糸の掛りし事

一幕は唐櫃の入りし唐櫃の大き幕一帖入る程の掛りし幕
 の糸の掛りし事して此種の幕の糸の掛りし事

一軍道具の何れのものも此幕を洗つて置くことを
 けきとも此幕の死の掛りし事して此種の幕の糸の掛りし事
 洗つて置くことを

